

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 4 日

事業所名 児童デイサービス あゆむ

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	3	4	1	重心なので、曜日で振り分ける必要があるのでは。	職員の急な休みが重なる時などに調整が大変であるが調整に努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	0		バリアフリーの新しい建物である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	1	ミーティング等で皆が参画できるように心がけています。	遠慮し、発言が出来ない職員がいるが、投げかけるとしっかりとした答えが返ってくるので、引き出せるかが、上司の課題だと考えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	5			保護者の意向等へ添うことが出来るように、業務改善に繋げていけるよう努めたいと考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	2		毎年ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	2		第三者はおりますが、評価までは出来ていません。今後行っていきたいと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	0	職員皆が参加できる機会を作るようにしています。	行政や・親の会・全国放課後連合会・法人会等からの案内の研修会へ参加するように努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	0		日々の支援・ご家族との会話の中からも、ニーズや課題を拾うように心がけています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4	0		少人数で重心で、日々異なるので、(今日・今・)標準化までする必要が今はないと考えています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	1		中心になって動いているメンバーが引っ張手くれているのですが、全員(チーム)で動けるようにしていきたいと思えます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	4	0	記録表等を毎日確認を行っている。	多くの事が経験できるように、今後もプログラムを増やしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	4	0	普段できないようなことを課題とし取り組んでいます。	長期休みは特に季節感を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0	皆で楽しめるように心がけています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3	1	前日に確認をおこなっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	0	休みの職員もわかるように、必要な事を記載し共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2	0	記入がやりやすいように、チェック形式を使うなどしています。	事業所独自の記録表を作成し、帰宅前に看護師と支援員でダブルチェックを行うようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	1	必要性に応じ、見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	4	0			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	0	可能であれば、看護師・理学療法士なども参画しています。	児発管も含め可能であれば2人以上で参画出来るようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2	0	送迎時学校に張り出される物を毎日確認し、親御さん又は学校へ確認しています。	年に2・3度は、別のデイの方と帰っていたりする事がありますが、直ぐに親御さんへ確認しを行うので、トラブルになる事はありません。他事業所と連携を計っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2	0	主治医・嘱託医とも連携が取れています。	支援内容が異なることが無いように、訪問看護や居宅事業等とも連携を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3	0	相談員と一緒に皆で共通理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	0	情報提供と、必要に応じ支援のやり方などを伝えに出向くこともあります。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	0	専門職からの助言を受ける機会を作っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	4	本来は行っていますが、今年はコロナ禍で行っていません。	地域の図書館へ本を借りに行く程度にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	2	今年度は自粛しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2	0	持っています。	必要に応じて常に話し合えるよう信頼関係を築けるように、心がけています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	3	5	0	行うようにしています		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	3	0	行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	0	行えるよう心掛けています。	内容によっては、事業所へ持ち帰り関わる職員で話す事もあります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	1	コロナ禍で自粛しています。	保護者同士で連絡を取り合っているようで有難いです。(学校で知り合った・事業所を通して知り合ったなど)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2	0	要望があった場合には、直ぐに内容を確認し、適切に対応を行っています。	大切なお子様のことなので、親御さんの立場・思いで考えられるように心がけ、真摯に対応するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	1	毎月お便りを発行しています。	日頃の活動等の雰囲気が届けられるように工夫しています。
	35	個人情報に十分注意している	6	2	0	心掛けています。	職員間で周知し注意するよう心掛けています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	2	0	個々によりコミュニケーションの取り方が違うので配慮しています。	個々で違うので、職員間でも共通理解し、本人が戸惑う事の無いようにしていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	0	コロナ禍で自粛しています。	毎年、近くの老人施設と、行き来し季節ごとの行事を一緒に楽しんでいます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4	1	行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	4	0	確認は行っていません。	地域的に災害区域に認定されていないのですが、計画は立てています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	6	0	確保しているます。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	0	説明は行っていません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	0	主治医やアンケート調査を行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3	0	共有しています。	